

# 平成22年度邑南町財務4表

邑南町では、総務省方式改訂モデルにより、平成22年度決算の普通会計財務4表を作成しました。なお、財務4表の作成には、昭和44年度以降の地方財政状況調査（決算統計）のデータを基礎数値として用いています。

## ◆貸借対照表

貸借対照表とは、年度末において、邑南町が住民サービスを提供するために保有している資産（土地、建物、現金等）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなっているかを表したものです。作成基準日は、平成23年3月31日ですが、出納整理期間（平成23年4月1日から5月31日まで）における平成22年度分の資金の出入りも含めています。

貸借対照表のイメージ図

<b>資産</b> 「住民サービスを提供するために保有する財産」 (土地・建物・現金等)	<b>負債</b> 「将来世代の負担」 (町債・退職手当引当金等)
	<b>純資産</b> 「国・県の負担及び現在までの世代の負担」 (国県支出金・一般財源等)

## ◆行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、邑南町の1年間の行政活動のうち人的サービスや給付サービスなどといった資産形成につながらない行政サービスにかかる費用とその行政サービスの直接の対価として得られた収益（使用料・手数料、分担金・負担金など）を対比させた書類です。

## ◆純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産の部に計上されている各項目の数値が1年間でどのように変動したかを表している計算書です。

## ◆資金収支計算書

資金収支計算書とは、現金（＝資金）の出入りの情報を性質の異なる3つの区分に分けて表示した財務書類です。

「経常的収支の部」は、日常の行政活動による資金収支の状況、「公共資産整備収支の部」は、公共事業等に伴う資金の使途とその財源の状況、「投資・財務的収支の部」は、出資・貸付・町債の償還などの支出とその財源の状況を表示しています。